



たかしま takashima

「高かったって、片足だって平気だよ」
「お父さんだって、昔は・・・」
湧き上がる歓声の中、そんな思いが見え隠れ!?



【今津北小学校運動会にて】

10月号
平成18年

CONTENTS 目次

いよいよ10月21日北陸本線・湖西線直流化開業	2~5
タウンピックス	6~10
市長日記・シリーズ環の郷	11
教育委員会Information	12・13
みんなで子育て、親育ち! 地域で子育て、親育て!	14・15
健康生活してますか?	16・17
まちネタ写真館	18・19
そうだ、図書館に行こう!	20・21
みんなのページ	22・23
情報お知らせ版	24~29
文化情報	30・31
病院・警察	32
窓口・納税	33
行事カレンダー	34・35



Home Page Address
<http://www.city.takashima.shiga.jp>
Mail Address
t-info@city.takashima.shiga.jp

広報たかしま 2006.10.1発行

Takashima 2006 October No.28

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新旭町1-6番565番地 ☎0742-5-8130
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp

高島市 歴史散歩 No.22

明治時代の小学校

日本の近代学校制度の整備は、明治5年(1872年)の学制の発布によって始まりました。それまでの江戸時代の学校には、藩校などの武家の学校と、寺子屋などの庶民の学校という二系統がありましたが、だれもが教育を受けられるわけではありませんでした。それを学制では、小学校を人民一般が必ず教育を受けるところと定め、各府県に小学校の設置をうながしました。



武曾学校

市内では、明治5年から9年ころにかけて、次々と多くの小学校が設立されました。ほとんどの小学校が、現在よりも規模はやや小さめで、2〜3集落程度が1校の学区となっていました。

小学校の名称は、旧高島町の瀧溝学校(瀧溝は大溝の別名)や今津町の嶋野学校(嶋野は学校設置場所付近の小字名)、朽木の平川学校(対象学区は平良と小川)のように地名に由来するもの、また安曇川町の弘智学校や新旭町の国修学校のように、当時の教育思想に沿って名づけられたものなどさまざまでした。この後も近代学校制度は、明治4年に定められた文部省の欧米の制度を模範とする方針に沿って、この後、急速に整備が進められました。明治19年の小学校令の制定では、小学校を義務教育とし、尋常小学校、高等小学校、ほかに小学簡易科で編成することが定めら



旧高島町の武曾横山には明治11年に建てられた武曾学校の建物が現在も残っていて、近代学校建築を今に伝える貴重な遺構として市の文化財に指定されています。(文化財課)



編集後記

「みんなの絵はがきを、おじいさん、おばあさんに届けてください。」と、さくら園の園児が郵便局に届けてくれました。(新旭郵便局にて)

